

結果サマリー

<参議院選挙>

- ・全ての回答者が、選挙結果について「想定範囲内」と回答。選挙結果に大きなサプライズは無し。
- ・選挙の注目ポイントは経済・財政を中心に、外交・憲法、社会保障などにも注目が集まった。

<消費税増税・軽減税率の適用>

- ・消費税増税を実施すべきとの声は大勢を占めるものの、税収の用途や軽減税率の対象品目の選定について反対意見も存在。

<AI時代の人材育成・最適活用に期待する政府の施策>

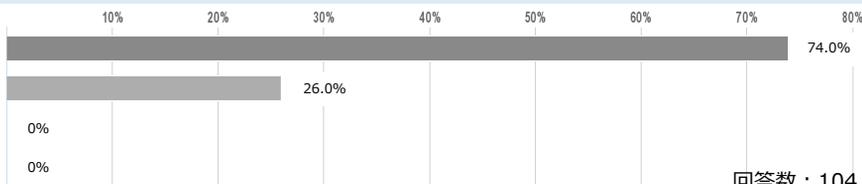
- ・IT人材の養成カリキュラムや、イノベーション誘発に繋げる多様性に満ちた組織づくりへのインセンティブ付与に期待が寄せられている結果。

<今後の政府への期待>

長時間労働の是正が推し進められたことを認める一方、生産性向上、イノベーション促進につながる政策実行の評価は低下。生産性の観点からは、**分母（労働時間）ではなく分子（アウトプット）の増加を後押しする政府支援に期待する声**が多数。また、経営者も**IT人材の不足に強い危惧**を抱いており、**若年層から社会人までテクノロジーの素養を高める教育を行うべく、環境整備がなされることを期待**している。

Q（7月21日に投開票された）参議院選挙の結果について、当てはまるものは？（単一回答）

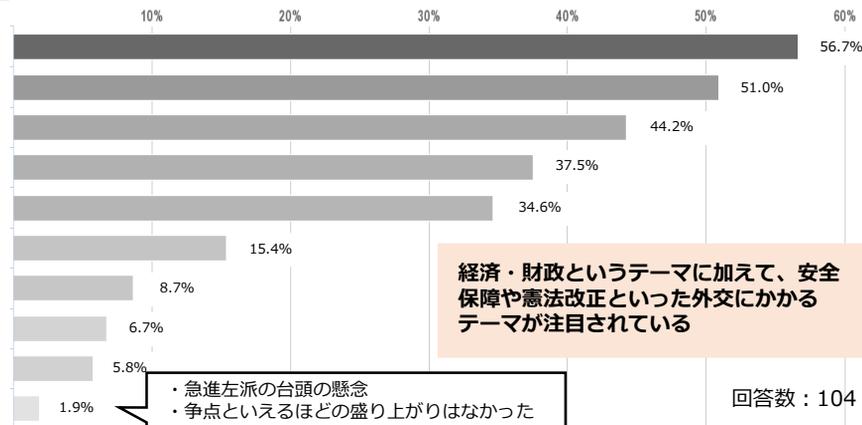
- 想定範囲内、政権運営への影響少ない
- 想定範囲内、政権運営への影響あり
- 想定と異なる、政権運営への影響少ない
- 想定と異なる、政権運営への影響あり



回答数：104

Q（7月21日に投開票された）参議院選挙について、注目したポイントは？（最大3つまで回答）

- 【経済】財政金融政策・成長戦略等
- 【消費税・財政】消費増税・歳入出合理化等
- 【外交・安全保障】外交姿勢・安全保障等
- 【憲法改正】9条改正（自衛隊明記）等
- 【社会保障】年金制度の持続性・受給額保証等
- 【働き方】賃金格差の是正・多様な働き方導入等
- 【エネルギー・環境・インフラ】原発再稼働等
- 【子育て】幼児教育無償化、待機児童解消等
- 【沖縄・日米関係】在日米軍基地・日米同盟等
- その他



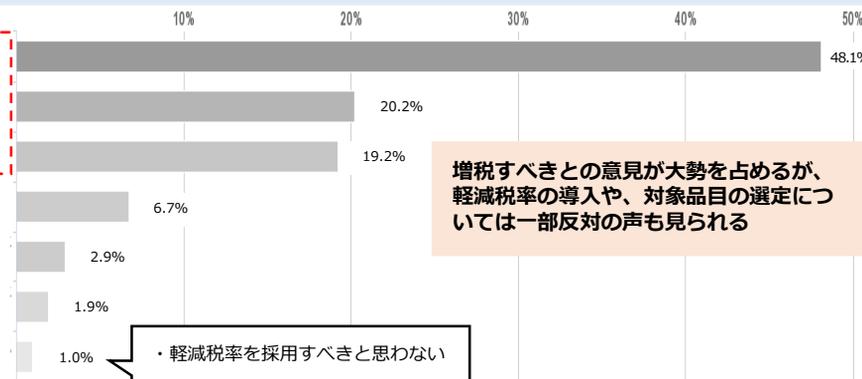
経済・財政というテーマに加えて、安全保障や憲法改正といった外交にかかるテーマが注目されている

・急進左派の台頭の懸念
・争点といえるほどの盛り上がりはなかった

回答数：104

Q（2019年10月に予定されている）消費増税・軽減税率の適用について、当てはまるものは？（単一回答）

- （増税すべき）予定通り増税すべき
- （増税すべき）税収の用途見直しのうえ、増税すべき
- （増税すべき）軽減税率の対象品目を見直しのうえ、増税すべき
- （増税すべきでない）景気の回復が不十分
- （増税すべきでない）税収の用途の見直しが必要
- （増税すべきでない）軽減税率の対象品目を見直しが必要
- その他

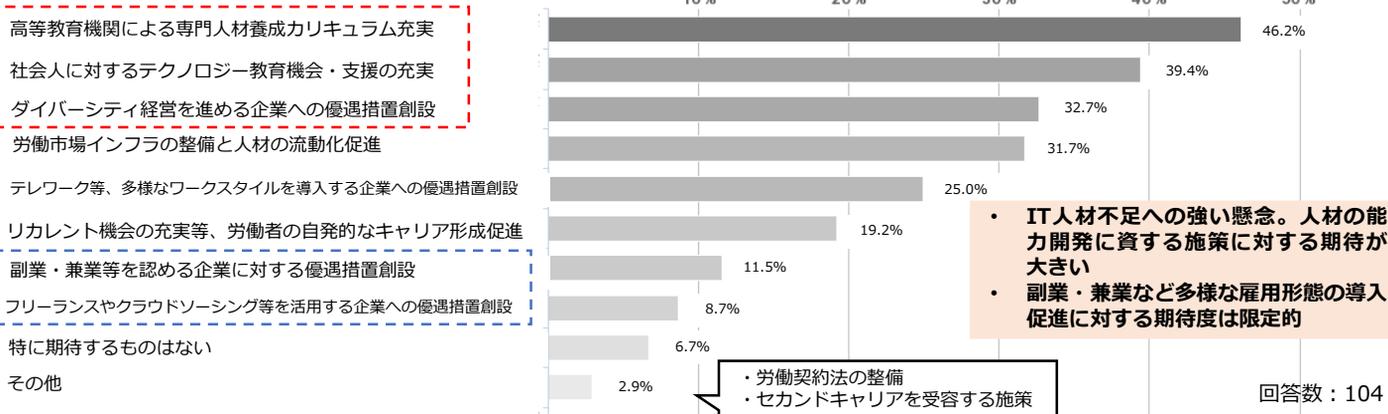


増税すべきとの意見が大勢を占めるが、軽減税率の導入や、対象品目の選定については一部反対の声も見られる

・軽減税率を採用すべきと思わない

回答数：104

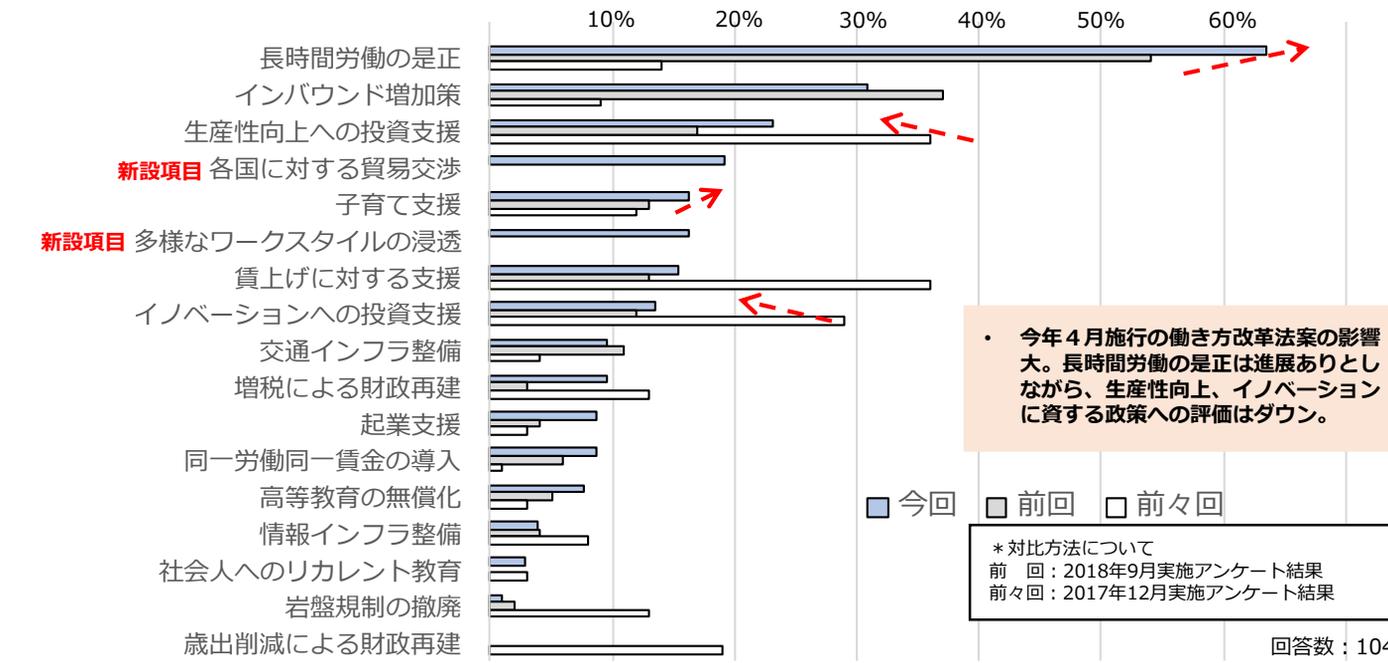
Q (人材育成・最適活用について) 政府に期待する施策は？ (最大3つまで回答)



- IT人材不足への強い懸念。人材の能力開発に資する施策に対する期待が大きい
- 副業・兼業など多様な雇用形態の導入促進に対する期待度は限定的

- 労働契約法の整備
- セカンドキャリアを受容する施策

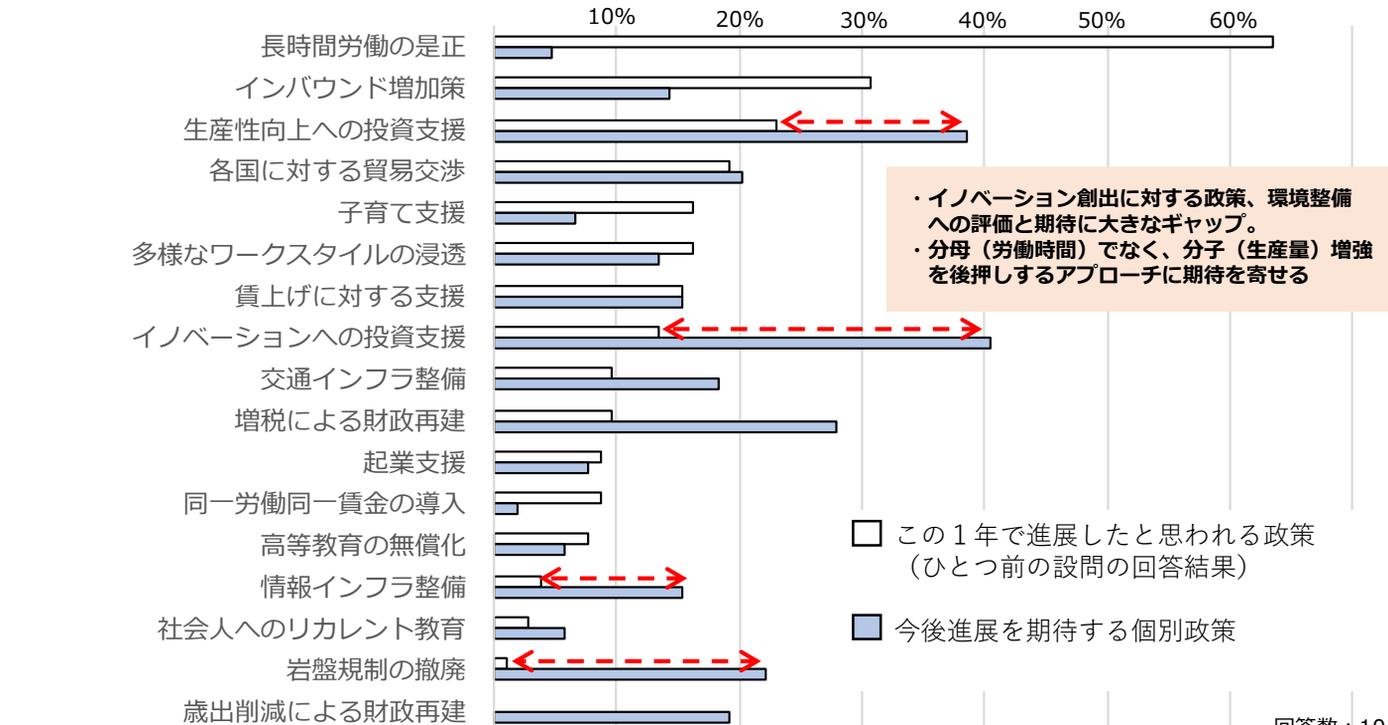
Q 過去1年間で、進展があったと思われる個別政策は？ (最大3つまで回答)



- 今年4月施行の働き方改革法案の影響大。長時間労働の是正は進展ありとしながら、生産性向上、イノベーションに資する政策への評価はダウン。

* 対比方法について
 前回：2018年9月実施アンケート結果
 前々回：2017年12月実施アンケート結果

Q 今後、進展を特に期待する個別政策は？ (最大3つまで回答)



- イノベーション創出に対する政策、環境整備への評価と期待に大きなギャップ。
- 分母(労働時間)でなく、分子(生産量)増強を後押しするアプローチに期待を寄せる

□ この1年で進展したと思われる政策 (ひとつ前の設問の回答結果)
 ■ 今後進展を期待する個別政策